

## 2. 事業評価個表

番 号	交付金事業の名称		
1	消防ポンプ自動車更新事業		
交付対象都道府県又は市町村その他の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市羽島分団 いちき串木野市羽島 5218 番地		
交付金事業の概要	消防ポンプ自動車 1台		
総事業費 (千円)	19,215	交付金充当額 (千円)	17,730
交付金事業の成果及び評価	<p>国家石油備蓄基地が立地している本市は、消防本部を核に1消防署、1分遣所、消防団本部、12分団の消防防災体制を整えており、消防施設等の整備については、消防施設整備事業に基づき実施し、住民の災害等に対する不安を払拭して安心安全なまちづくりを目指している。</p> <p>羽島分団に配備されていた消防ポンプ自動車（さちかぜ号）は、平成4年に導入以来、既に20年が経過しており、最近ではポンプ関係モニターランプに点灯不具合がみられ、また、ポンプ本体の老朽化、止水弁等の経年劣化による放水圧力の低下、更には吸管的の経年劣化による内張ゴムの剥離やひび割れによるピンホールの発生などにより吸水能力が低下（落差のある箇所から吸水ができない。）するなど、消防活動に支障を来たしている状況であった。</p> <p>今回更新された消防ポンプ自動車は、CD-I型で乗車定員10名、ポンプは高性能高圧タービンポンプでA-2級のポンプ性能を有し、自動揚水ができる最新型の車両である。</p> <p>更新後、これまで火災出動1回、消防合同演習1回、火災防ぎょ訓練等を3回実施、点検及び水利調査等に4回使用している。</p> <p>最新型の消防ポンプ自動車に更新したことにより、経年劣化による不具合等は解消され、現場での消火活動がスムーズに行え、消防力の強化、火災による被害の軽減が図られ、消防防災体制がより確実なものとなり、住民の安心安全の確保に資するものと評価する。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	消防ポンプ自動車購入	指名競争入札	鹿児島森田ポンプ(株)
			契約金額 (千円) 19,215
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
ポンプ車両の計画的な更新等は、住民の安心安全の確保を図るためには必要不可欠な事業であると考え			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			
特に予定なし			

## 2. 事業評価個表

番 号	交付金事業の名称		
2	消防用ホース（署）更新事業		
交付対象都道府県又は市町村その他の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市消防本部 いちき串木野市昭和通 133 番地 1		
交付金事業の概要	40mm 10本 50mm 20本		
総事業費（千円）	1,068	交付金充当額（千円）	912
交付金事業の成果及び評価	<p>国家石油備蓄基地が立地している本市は、消防本部を核に1消防署、1分遣所、消防団本部、12分団の消防防災体制を整えており、消防施設等の整備については、消防施設整備事業に基づき実施し、住民の災害等に対する不安を払拭して安全安心なまちづくりを目指している。</p> <p>消防用ホース50mmについては、65mmの消防用ホースに比べ軽量で、消火活動時における搬送等が容易であるため、火点直近において活用している。また、消防用ホース40mmについても、軽量で放水量も少ないため、水損防止等を考慮し、家屋内等の消火において活用している。</p> <p>消防用ホースの耐用年数は、使用頻度や取扱い方等によって異なるが、一般的には7年程度とされている。消防署で保有している消防用ホースで、10年以上経過しているホースは、50mm消防用ホースが50本、40mm消防用ホースが21本あり、劣化や摩耗等によって使用圧に対する漏水や破損等の恐れが大きく、消火活動及び安全管理上支障を来たしていた。</p> <p>特に、危険物火災では、十分な人員及び消火薬剤等を集結させ、一気に鎮火まで継続して消防活動が実施できる態勢を取ることが必要であり、そのためにも長時間の高圧放水に耐えられる新しいホースが必要不可欠であった。</p> <p>今回、更新した消防用ホースは、使用圧1.6MPaの呼称50mm（結合金具口径50mm）のホースが20本及び呼称40mm（結合金具口径40mm）のホース10本である。</p> <p>更新後、これまで火災現場3回、その他の災害現場1回、消防合同演習1回及び火災防ぎょ訓練10回で使用している。</p> <p>今回、10年以上経過の老朽化したホースを更新したことにより、火災現場での漏水や破損等の発生を防止でき、現場でのスムーズな防ぎょ体制及び安全管理が確立され、本市における消防防災体制がより確実なものとなり、住民の安心安全の確保に資するものと評価する。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	消防用ホース（署）	指名競争入札	(有)イズミ商事
			契約金額（千円） 1,068
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
消防用ホースの計画的な更新等は、住民の安心安全の確保を図るためには必要不可欠な事業であると考え			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			
特に予定なし			

## 2. 事業評価個表

番 号	交付金事業の名称		
3	消防用ホース(団)更新事業		
交付対象都道府県又は市町村その他の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市中央分団 外11カ所 いちき串木野市旭町1番地2 外11カ所		
交付金事業の概要	65mm 60本		
総事業費(千円)	2,583	交付金充当額(千円)	2,288
交付金事業の成果及び評価	<p>国家石油備蓄基地が立地している本市は、消防本部を核に1消防署、1分遣所、消防団本部、12分団の消防防災体制を整えており、消防施設等の整備については、消防施設整備事業に基づき実施し、住民の災害等に対する不安を払拭して安全安心なまちづくりを目指している。</p> <p>消防用ホースの耐用年数は、使用頻度や取扱い方等によって異なるが、一般的には7年程度とされている。消防団が保有している65mm消防用ホースのうち半数近いホースがすでに10年を経過しているもので、劣化や摩耗等によって使用圧に対する漏水や破損等の恐れが大きく、消火活動及び安全管理上支障を来たしていた。</p> <p>特に、危険物火災では、十分な人員及び消火薬剤等を集結させ、一気に鎮火まで継続して消防活動が実施できる態勢を取ることが必要であり、そのためにも長時間の高圧放水に耐えられる新しいホースが必要不可欠であった。</p> <p>今回、更新した消防用ホースは、使用圧1.6MPaの呼称65mm(結合金具口径65mm)のホースで、中央・本浦・照島・羽島・荒川・旭・生福・冠岳・湊・川南・川北・川上分団の全12分団に各5本、合計60本を整備した。</p> <p>更新後、これまで火災現場2回、消防合同演習2回及び火災防ぎょ訓練3回で使用している。</p> <p>今回、10年以上経過の老朽化したホースを更新したことにより、火災現場での漏水や、破損等の発生を防止でき、現場でのスムーズな防ぎょ体制及び安全管理が確立され、本市における消防防災体制がより確実なものとなり、住民の安心安全の確保に資するものと評価する</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	消防用ホース(団)	指名競争入札	榎熊谷消防設備
			契約金額(千円) 2,583
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
消防用ホースの計画的な更新等は、住民の安心安全の確保を図るためには必要不可欠な事業であると考え			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			
特に予定なし			

## 2. 事業評価個表

番 号	交付金事業の名称		
4	防火水槽設置事業		
交付対象都道府県又は市町村その他の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市川上地内		
交付金事業の概要	40 m <sup>3</sup> III型 1基		
総事業費（千円）	7,581	交付金充当額（千円）	6,600
交付金事業の成果及び評価	<p>国家石油備蓄基地が立地している本市は、消防本部を核に1消防署、1分遣所、消防団本部、12分団の消防防災体制を整えており、消防施設等の整備については、消防施設整備事業に基づき実施し、住民の災害等に対する不安を払拭して安心安全なまちづくりを目指している。</p> <p>今回、防火水槽の設置をした地区は、消防機関が消防（消火）活動を行うために必要とする最少限度の水利について定めた消防庁告示の「消防水利の基準」に基づいた本市の消防水利不足箇所であり、早急に消防水利を確保する必要があったため、防火水槽 1基（容量 40 m<sup>3</sup>）を新設し、防災体制の強化を図ったものである。</p> <p>当該防火水槽を設置後、これまでに火災等で使用したことはないが、職員及び消防団員に周知し、設置場所の確認等を行わせ、有事に備えさせている。</p> <p>今回設置したことにより、当該地区の住宅等における消防水利不足が解消され、火災時の消火活動が優位に展開し、防災体制がより確実なものとなり、住民の生命、財産を保全し安心安全の確保に資するものと評価する。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	防火水槽設置事業	指名競争入札	(有) 福菌建設
			契約金額（千円）
			7,581
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
防火水槽の計画的な更新等は、住民の安心安全の確保を図るためには必要不可欠な事業であると考ええる。			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			
特に予定なし			

## 2. 事業評価個表

番 号	交付金事業の名称		
5	防災行政無線戸別受信機更新事業		
交付対象都道府県又は市町村その他の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市役所 いちき串木野市昭和通 133 番地 1		
交付金事業の概要	コミュニティ無線戸別受信機 900台		
総事業費 (千円)	40,320	交付金充当額 (千円)	37,000
交付金事業の成果及び評価	<p>国家石油地下備蓄基地が立地している本市は、万が一の災害に備え、防災行政無線の同報系を整備し、安心安全なまちづくりに努めている。</p> <p>本市の防災行政無線戸別受信機整備については、市町村合併前の旧串木野市で平成6年度から平成8年度に、旧市来町では平成2年度に、全世帯に整備(貸与)を行っており、平成17年10月の両市町による市町村合併後も、災害に備え、円滑な情報伝達が行われるよう引き続き防災無線戸別受信機を整備し、防災対策の整備充実を図ってきたところである。</p> <p>しかしながら、当初整備から約20年が経過し、戸別受信機の故障や受信不良が多くなり、また、平成23年3月11日の東日本大震災以降、市民の防災に対する関心が高まり、新規貸与の問い合わせが多かったことから、平成24年度に防災行政無線の再整備として地域コミュニティ無線システムを導入し、全世帯の戸別受信機の更新を行ったところである。</p> <p>平成24年度の再整備では、一般家庭を対象に更新を行ったところであるが、東日本大震災や近年の集中豪雨、台風、竜巻による被害が全国的に発生していることから、事業所からも戸別受信機の設置要望が多く、設置が急務であったため、昨年度整備した戸別受信機を、今回、事業所用として900台購入したものである。</p> <p>更新後においては、一般家庭と同様、市からの情報を朝・夕1日2回(日・祝日の朝は除く)行っているほか、災害等が発生するおそれがある場合等は、緊急放送を行うこととしている。</p> <p>今回事業所に戸別受信機を整備することにより、就業時間における従業者等へも災害時の情報伝達が確実かつ円滑に行なわれるようになることから、より一層、住民の安心安全の確保に資するものと評価する。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	防災行政無線戸別受信機更新事業	指名競争入札	芝浦電子工業(株)
			契約金額 (千円) 40,320
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
防災行政無線戸別受信機の計画的な更新等は、住民の安心安全の確保を図るためには必要不可欠な事業であると考え			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			
特に予定なし			